

# 目次

## CONTENTS

まえがき	i
本書の使い方	xi
本書の構成と学び方	xii

## 第 I 部 リテラシーをみかく

第 1 章 ノート・テイキング	3
1.1 大学での学びとノート・テイキング	4
1.1.1 大学の授業でのノート・テイキング	4
1.1.2 ノート・テイキングの目的と意義	4
1.1.3 ノート・テイキングの 2 つの段階	5
1.2 実践的なノート・テイキング	7
1.2.1 予備知識としての予習	7
1.2.2 ノート・テイキングの工夫	7
1.2.3 ノートをよりよくするための工夫	9
EXERCISE 1 ノートを取る	10
1.3 ノート・テイキングの実際	11
1.4 理解を深めるためのノート	15
1.4.1 ノートを視覚化する	15
1.4.2 マインドマップを作る	15
EXERCISE 2 マインドマップを作る	16
第 1 章をふりかえって	18
第 2 章 情報を集める	19
2.1 大学での学びと情報検索	20
2.1.1 情報検索の重要性	20
2.1.2 大学の学びで必要な情報検索	20
2.2 様々な情報源	21

<b>2.3</b>	インターネットで探す	24
2.3.1	検索サイトを使う	24
2.3.2	蔵書検索システムを使う	26
2.3.3	インターネット上のデータベースを使う	27
2.3.4	インターネット情報の限界	28
	EXERCISE 1 インターネットで情報を集める	29
<b>2.4</b>	大学図書館で探す	30
2.4.1	図書館の蔵書検索システムを使う	30
2.4.2	参考図書コーナーを使う	31
2.4.3	新聞・雑誌の閲覧コーナーを使う	31
2.4.4	関連書架をあたる：日本十進分類法	32
2.4.5	視聴覚資料を利用する	34
2.4.6	レファレンス・カウンターで尋ねる	34
	EXERCISE 2 大学図書館で情報を集める	34
<b>2.5</b>	情報倫理に配慮する	35
2.5.1	著作権	35
2.5.2	剽窃と引用	36
	第2章をふりかえって	38
	<b>column</b> スタディ・スキルを活かす① ゼミの中で	39

第 <b>3</b> 章	<b>リーディング</b>	41
<b>3.1</b>	大学での学びとリーディング	42
3.1.1	リーディングの重要性	42
3.1.2	大学生活に必要なリーディング	43
3.1.3	社会生活とリーディング	43
<b>3.2</b>	様々な文章とその読み方	44
3.2.1	様々な文章	44
3.2.2	様々な読み方	45
<b>3.3</b>	読解のスキル	46
3.3.1	文章の全体像を把握する	46
	EXERCISE 1 全体像を把握する	50

3.3.2	精読する	51
3.3.3	文章の構造を分析する	53
	EXERCISE 2 精読して構造図を描く	56
<b>3.4</b>	<b>要約する</b>	<b>58</b>
3.4.1	要約とは	58
3.4.2	要約の方法	58
	EXERCISE 3 要約する	59
<b>3.5</b>	<b>批判的に読む(クリティカル・リーディング)</b>	<b>60</b>
3.5.1	クリティカル・リーディングとは	60
3.5.2	クリティカル・リーディングの方法	60
<b>3.6</b>	<b>記録する</b>	<b>62</b>
3.6.1	ノートやカードを作る	62
3.6.2	文献リストを作る	63
	第3章をふりかえって	64
<b>第4章</b>	<b>ライティング</b>	<b>65</b>
<b>4.1</b>	<b>大学での学びとライティング</b>	<b>66</b>
4.1.1	ライティングの重要性	66
4.1.2	大学でのライティングに求められること	66
4.1.3	大学でのレポート	66
<b>4.2</b>	<b>わかりやすく説明する</b>	<b>68</b>
4.2.1	わかりやすい説明をするには	68
4.2.2	わかりやすい説明をするための3つのポイント	68
	EXERCISE 1 わかりやすく説明する	71
<b>4.3</b>	<b>説得力のある主張をする</b>	<b>72</b>
4.3.1	論証文の特徴	72
4.3.2	説得力のある論証文の条件	72
4.3.3	理由を見つける	73
4.3.4	5段落で論証文を組み立てる	75
	EXERCISE 2 5段落で論証文を書く	77

4.4	レポートの基礎知識	78
4.4.1	レポートの種類と特徴	78
4.4.2	レポートの構成	78
4.5	レポートを書く	80
4.5.1	レポート作成の手順	80
4.5.2	スケジュールを立てる	81
4.5.3	意見の内容を考える	81
4.5.4	情報収集をする	82
4.5.5	アウトラインを組み立てる	83
4.5.6	執筆する	84
4.5.7	点検して体裁を整える	84
4.6	引用・注・参考文献表	86
4.6.1	引用する	86
4.6.2	注をつける	87
4.6.3	参考文献表を作る	88
	EXERCISE 3 ミニレポートを書く	89
	第4章をふりかえって	92
	<b>column</b> スタディ・スキルを活かす② 卒業研究に向けて	93

## 第Ⅱ部 コミュニケーション力をみがく

第5章	プレゼンテーション	97
5.1	大学での学びとプレゼンテーション	98
5.1.1	社会で求められているプレゼンテーション・スキル	98
5.1.2	大学の学びにおけるプレゼンテーションの意義	98
5.2	プレゼンテーションとは	99
5.2.1	プレゼンテーションの種類	99
5.2.2	プレゼンテーションの要素	99

5.3	スピーチ力を鍛える	105
5.3.1	スピーチがすべての基本	105
5.3.2	アイデアの構想を練る	105
5.3.3	アウトラインの作成	106
5.3.4	読み原稿の作成	106
5.3.5	リハーサル	108
	EXERCISE 1 グループスピーチをする	109
5.4	高度なプレゼンテーション	110
5.4.1	説明型プレゼンテーション	110
5.4.2	説得型プレゼンテーション	111
	EXERCISE 2 高度なプレゼンテーションをする	112
5.5	ドキュメントを使ったプレゼンテーション	113
5.5.1	配付資料を使う	113
5.5.2	スライドを使う	115
5.5.3	スライドの作成	116
	EXERCISE 3 配付資料とスライドでプレゼンテーションする	117
	第5章をふりかえって	118
第6章	ディスカッション	119
6.1	大学での学びとディスカッション	120
6.1.1	ディスカッションの重要性	120
6.1.2	ディスカッションとプレゼンテーションの関係	120
6.2	ディスカッションの心得	122
6.2.1	生産的なディスカッションの条件	122
6.2.2	参加者の心得	122
6.2.3	司会(ファシリテーター)の心得	123
6.2.4	記録係	124
6.3	ディスカッションの種類と目的	125
6.3.1	様々なディスカッションの形式	125
6.3.2	目的と規模に応じたディスカッション	126
6.3.3	大学での学びに必要なディスカッションとは	127

6.4	理解を深めるディスカッション	128
6.4.1	イントロダクション	128
6.4.2	バズセッションの進め方	128
	EXERCISE 1 バズセッションで理解を深める	129
6.5	問題を解決するディスカッション	130
6.5.1	イントロダクション	130
6.5.2	問題解決のためのアイデアを出し合う(ブレインストーミング)	130
6.5.3	集めたアイデアを整理・分類する(KJ法)	131
6.5.4	ブレインストーミングとKJ法を組み合わせる	133
	EXERCISE 2 ブレインストーミングとKJ法で問題を解決する	136
6.6	問題を共有するディスカッション	137
6.6.1	イントロダクション	137
6.6.2	シンポジウムの進め方	138
	EXERCISE 3 ミニシンポジウムで問題を共有する	140
	第6章をふりかえって	142
<b>第7章</b>	<b>ディベート</b>	<b>143</b>
7.1	ディベートとは	144
7.1.1	ディベートとディスカッションの違い	144
7.1.2	ディベートの意義	145
7.1.3	これまでに学んだスキルを総動員しよう	145
7.1.4	ディベートのフォーマット	146
7.2	簡単なディベート	147
7.2.1	ピンポン・ディベート	147
7.2.2	ワンマン・ディベート	147
	EXERCISE 1 簡単なディベートをしてみよう	148
7.3	ディベートの準備	149
7.3.1	チーム分け	149
7.3.2	論題の選択	150
7.3.3	主張作り	151

EXERCISE 2 主張とエヴィデンスを作る	162
<b>7.4</b> ディベートをおこなう	163
7.4.1 ディベートの前に	163
7.4.2 主張	164
7.4.3 質疑	164
7.4.4 反論	165
7.4.5 フローシートに記録する	165
7.4.6 判定	166
7.4.7 ディベートが終わったあとは	168
EXERCISE 3 ディベートをする	168
第7章をふりかえって	170
<b>column</b> スタディ・スキルを活かす④ 社会人になってから	171
索引	173
あとがき	179
執筆者紹介	181

# 第 1 章

# ノート・テイキング

話を聞いてまとめるノート・テイキングのスキルは、すべての学びの基本となる大切な能力です。聞いてまとめる力は、大学での学びの基本となる「考える」力を支える力であり、この力をきちんと養っておかなければ、考える力を身につけることはできないからです。

第1章では、この聞いてまとめるスキルを、授業を聞いてノートを取る作業を通して学びます。高校と大学でのノートの取り方との違いから始めて、講義ノートを効果的に取る実践的な方法を学び、さらに社会に出てからも役に立つノート・テイキングについても学びます。

## 学習内容

- 大学でのノート・テイキングの意義を学ぶ。
- ノート・テイキングに必要な様々なスキルを習得する。
- 作成したノートをどのように活用させることができるかを考える。

## この章で身につく学びの力

- 1 聞き取り力
- 2 整理力
- 3 発想力



## 1.1 大学での学びとノート・テイキング

### 1.1.1 大学の授業でのノート・テイキング

4月入学したばかりの大学。新しい学問に触れる期待で胸がいっぱい。そして、ついに始まった授業の初日。あれあれ、何か違うなあ……。授業が終わって、ノートを見ると、何も書いていないまま。そういえば、先生は熱心に話すばかりで、何も黒板やホワイトボードに書いてくれなかったぞ……。

このようなことは、大学に入学まもない新生に起こりがちの悲劇ですが、その原因は、高校までの授業形式と、大学の授業形式の違いにあります。高校までの授業では、先生がノートすべき内容をすべて黒板に書いてくれました。それを丸写しして、その内容をおぼえれば、それで何とかできました。しかし、大学での授業は、高校までの授業とは違い、不親切な部分が多いのです。最近でこそ、パワーポイントを使ったり、レジュメ(授業内容のまとめ)や資料を配付する授業が普及しつつありますが、それでも、板書の内容をただノートに写せばこと足りるといった、親切な授業はしてくれないのが普通です。ノートを取る時間をわざわざ与えてくれることもありません。中には、ほとんど板書をせず、レジュメや資料も必要最小限のものしか配付しない授業もあります。

では、なぜ大学の授業は不親切なのでしょう。それは、大学の授業では、授業を聞く学生が自分でノートの内容を考え、「創造的な」ノートを取ることを期待されているからです。大学での学びは、受け身では成り立ちません。話の内容をきちんと聞いて、重要な部分をしっかりと理解し、それを手際よくまとめたノートを取れるようになることが、大学での能動的な学びの第1歩なのです。

#### 高校と大学でのノート・テイキングの違い

	高校まで	大学(とくに講義)
教員	ぜんぶ書いてくれる	あまり書かないことが多い
生徒・学生	丸写しをすればいいだけ	自分でノートの内容を考える

### 1.1.2 ノート・テイキングの目的と意義

ノート・テイキングは、大学の学びにおける最も基本的なスキルの1つです。また、第2章以下で身につける様々なスタディ・スキルの根幹に位置するスキルですので、ノート・テイキングのスキルをしっかりと身につけておけば、このあとのスタディ・スキルの勉強をよりスムーズに進めていくことができます。

## 第2章

# 情報を集める

第1章では、ノート・テイキングのスキルを、講義ノートの取り方を中心に学びました。しかし、大学での学びに必要な情報源は授業だけではありません。レポートを書いたり、研究発表するためには、自分で様々な情報を集めていかなければなりません。有益な情報を効率的に集められるようになれば、レポートや発表の質は大きく向上します。

第2章では、文献・資料・情報を探するための主な情報源とその使い方について解説します。本章の内容は、情報リテラシー(情報活用能力)の基礎となるものですから、しっかり理解してください。

### 学習内容

- 情報検索のための道具と、その使い方を理解する。
- レポート作成や卒業論文に必要な図書・雑誌論文などを探す方法を学ぶ。
- インターネットを利用した情報検索を学ぶ。
- 著作権と剽窃<sup>ひょうせつ</sup>をめぐる問題を知り、情報倫理を身につける。

### この章で身につく学びの力

- 1 情報検索力
- 2 情報収集力
- 3 図書館活用力

# 第3章

# リーディング

リーディングは、大学での学びにおいて最も基本的なスキルの1つです。リーディングのスキルは、大学での学びのあらゆる場面で必要とされるものですので、早い段階でこのスキルの訓練をしておく、その後の学びをより効果的に進めることができます。第3章では、このリーディングに関わる様々なノウハウを取り上げ、段階的に訓練していきます。

まず、リーディングとは何かを学んだあと、様々な種類のリーディングについて、実践的な訓練をおこないます。また、上位年次や社会で求められる、クリティカル・リーディングについても学びます。

## 学習内容

- 大学の学びにおけるリーディングの基礎知識を得る。
- リーディングの方法を、段階をふんで具体的に訓練する。
- 要約の方法を学ぶ。
- 批判的な読み方とはどのようなものかを知る。
- リーディングによって得た情報を記録する方法を学ぶ。

## この章で身につく学びの力

- 1 読解力
- 2 理解力
- 3 批判的思考力
- 4 情報整理力

## 第4章

# ライティング

第3章で学んだリーディングと並び、ライティングは、大学での学びにおける最も基本的なスキルの1つです。大学でのライティングというと、レポートのことが頭に浮かびがちですが、実際には、ライティングのスキルは学びのあらゆる場面で必要とされます。

そこで第4章では、まず、わかりやすい文章を書く基礎的な訓練から始め、本格的なレポート作成へと徐々にステップ・アップしていきます。

### 学習内容

- わかりやすい説明をするためにはどうすればよいかを学び、訓練する。
- 説得力のある文章の書き方を、5段落の論証文を書くことによって学ぶ。
- レポートに関する基礎知識を学ぶ。
- レポートを書くための具体的な手順を学び、ミニレポートを書く訓練をする。

### この章で身につく学びの力

- 1 論理的思考力
- 2 批判的思考力
- 3 文章構成力
- 4 表現力

# 第5章

# プレゼンテーション

プレゼンテーションは、自分が持っている知識や考えを口頭で他人に伝え、理解してもらうための表現方法です。高校までの学びは、知識を受動的に受け入れるだけで十分でしたが、大学では、自分で調べた情報やそれをもとに考えた自分の意見などを、他人に向かって口頭でわかりやすく伝えるスキルがとても大切になります。

本章では、このプレゼンテーションのスキルを、基本となるスピーチの練習やドキュメントの作成法などを交えて、総合的に学んでいきます。

## 学習内容

- プレゼンテーションについての基礎的な知識を得る。
- アウトラインにもとづくスピーチの方法を学び、スピーチ力を鍛える。
- 配付資料やスライドなどのドキュメントの作成方法を学ぶ。

## この章で身につく学びの力

- 1 説明力
- 2 説得力
- 3 時間管理力
- 4 スピーチ力
- 5 プレゼン力

## 第6章

# ディスカッション

ディスカッションは、他人との知的コミュニケーションを通して問題に対する理解を深め、問題のよりよい解決策を探るための有効な方法です。大学での学びにも広く応用できます。第6章では、このディスカッションについて総合的に学び、様々なディスカッションのスキルを訓練します。

まず、ディスカッションの意義や種類、注意点など基本的な知識を解説したあと、3つの異なるディスカッションの訓練を通して、このスキルを総合的にみがいていきます。

### 学習内容

- ディスカッションの意義を理解し、その基本的スキルを学ぶ。
- 参加者の意見や本音を深く知るための討論形式を学び、訓練する。
- 創造的に発想したり、効率的に問題を解決するための方法を学び、訓練する。
- 多人数で、多角的かつ深い内容の理解が得られる討論形式を学ぶ。

### この章で身につく学びの力

- 1 コミュニケーション力
- 2 発想力
- 3 創造的思考力
- 4 問題解決力
- 5 合意形成力

# 第7章

# ディベート

ディベートは、与えられたテーマについて、肯定・否定の立場に分かれて、互いに意見を主張し合い、勝敗を決める討論競技です。意見の説得力を競い合う知的ゲームといえます。

本章では、ディベートの練習を通して、一定のルールの範囲内で自分の意見を形成し、それを上手に主張するテクニックを訓練します。ディベートには、スタディ・スキルのすべてが盛り込まれていますので、これまでの学びの総仕上げとして大変有効です。

## 学習内容

- ディベートの意義を理解し、その基本的スキルを学ぶ。
- 簡単なディベートを体験することで、ディベートに必要な能力を学び取る。
- これまで習得してきたスキルを用いて、ディベートの準備をおこなう。
- 本格的なディベートの実践を通じて、自分の意見を形成し主張する訓練をおこなう。

## この章で身につく学びの力

- 1 論理的思考力
- 2 批判的思考力
- 3 説得力
- 4 プレゼンカ
- 5 コミュニケーション力
- 6 時間管理力